

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	諫早市			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	諫早市	農林水産部・林務水産課	半田	0957-22-2605
事業期間	開始年	平成25年6月28日 (3年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日)平成25年6月28日 (完了日)平成28年3月31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	小長井町漁業協同組合	諫早湾において養殖された小長井産カキの販路拡大を推進し、漁業者の経営安定を図る。		
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	小長井産カキ(小長井牡蠣、華漣)の販路拡大に係る経費の補助金 【補助対象経費の内容】 ・PR活動のためのサンプル代 ・加工品のパッケージ製作費 ・加工品のPRグッズ製作費 ・大都市(東京、大阪)における販路開拓のための旅費 ・ノロウイルス検査等の製品検査費 ・加工品の保存試験費及び栄養分析費			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 小長井町漁業協同組合がシングルシード方式で試験養殖したカキ「華漣」が平成24年4月1日開催の「かき日本一決定戦」において初代王者となった。			
	(経緯・現状) 「華漣」は「かき日本一決定戦」において初代王者となったが、当時は試験養殖段階で生産体制が十分に整っていなかったため、生産から販売にかかる一連の経費を支援し、「小長井牡蠣」に続く新たな地域特産品として養殖定着促進を図ることとなった。併せて、市場競争が激化している「小長井牡蠣」の販売促進を図ることとなった。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		630,000	593,000	373,474				
(財源内訳)	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	市町振興共同事業助成金	0	0	186,737				
	一般財源	630,000	593,000	186,737				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	小長井牡蠣の水揚額	毎年水揚額10%向上 基準年 (H24年度実績52,485千円)	千円	目標	57,734	63,507	69,858 (見込)
					実績	128,262	116,649	125,825 (見込)
				目標達成率(%)		222	184	180 (見込)
	②	華漣の生産者数	毎年生産者3名増 基準年 (H24年度実績0人)	千円	目標	3	6	9
					実績	3	6	9
目標達成率(%)				100	100	100		

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 「小長井牡蠣」、「華漣」の販路拡大事業については、3ヶ年で十分な成果があり、当初の目標を達成したことから次年度以降は小長井町漁協において実施可能である。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		東京・大阪等の大消費地への販路拡大を図ったことで「華漣」の生産者数は目標の9人を確保でき、「小長井牡蠣」の水揚額は目標の毎年10%向上を十分達成できた。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がある理由)		
	実施予定 期 日	平成 28年度	「華漣」については、現状の提灯カゴだけを使用した養殖方法では付着物除去等に非常に手間がかかり効率的でないため、バスケットを使用した新たな養殖方法を導入し、生産性の向上を図る取り組みが必要である。(H28年度以降に市単独事業で支援)		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		長崎県漁連の指導事業において販路拡大が可能である。			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		次年度以降の販路拡大の取り組みは小長井町漁協において実施可能である。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難				

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input checked="" type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	<p>「小長井牡蠣」、「華漣」の販路拡大については、市補助事業の当初目標が達成できたこと、また、長崎県漁連の指導事業において今後も販路拡大が可能なことから平成27年度で完了とする。</p> <p>なお、今後の「華漣」の養殖普及については、バスケットを使用した新たな養殖方法を導入することで生産性の向上が見込まれることから、市単独事業で養殖資材等の購入を支援し、養殖定着促進を図る。</p>				